

SATA コマンドモニタリング装置 「SATA Command Monitor」



【製品概要】

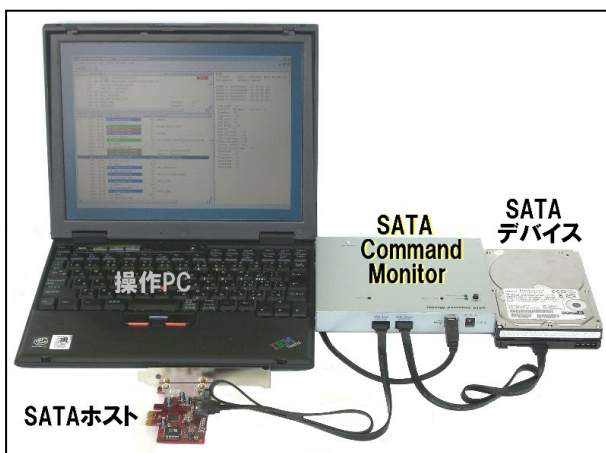
「SATA Command Monitor」は、SATAバスを流れるFISパケットをモニタリングし、このFISを内蔵メモリに記録する装置です。FISにはコマンドまたはデータが格納されており、専用アプリケーションにより表示され、ファイルとして保存することも可能です。SATAホスト/デバイスをターゲットとした設計、開発、検査等における動作確認や問題解析においてプロトコル解析を支援します。

従来の測定器では考えられなかった低価格帯を実現することにより、“開発者一人に一台の導入”を可能にしました。また、教育機関や開発部門の教材としてSATA規格、ATA/ATAPIのコマンドセットの実習、技術習得に最適な装置です。

標準的な測定器とは少し違った、“必要な機能を手軽に！”をコンセプトにした自社開発(国内生産)製品です。

【製品の特徴】

- ◆ SATA I/II ホストとSATAハードディスク、DVD/CDドライブ、各種変換LSIなどとの接続を解析可能
- ◆ 記録情報をFISに限定する事により低価格を実現
- ◆ Data FISであれば約8000パケットを記録することが可能
Data FISフィルタ機能を使用することにより、約1Mパケットまで記録する事が可能
- ◆ 操作PCとの接続にUSB2.0 High Speedを採用
- ◆ トリガ条件にATAコマンド/エラーを指定可能な簡易トリガ機能を搭載



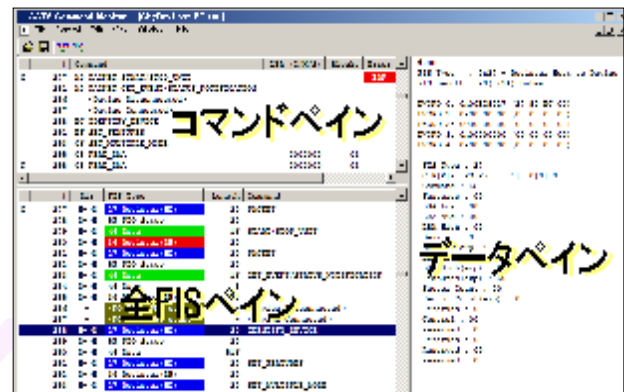
<接続イメージ>

【ハードウェア仕様】

対応 SATA 転送速度	1.5Gbps, 3.0Gbps
モニタパケット	FIS (Frame Information Structure)
SATA コネクタ	ホスト接続用 x 1、デバイス接続用 x 1
外形寸法	W170 × D140 × H25 (mm)
PC 接続	USB1.1 / USB2.0

【アプリケーション仕様】

モニタモード	Full Stop / Free Run を選択可能
モニタ終了	バッファフル終了、強制終了
フィルタ機能	Data FIS サイズリダクション
表示コマンド	ATA/ATAPI-8 コマンドセット準拠 (ベンダーコマンド等は“Unknown”で表示)
対応 OS	Windows 2000 / XP (32bit) / Vista (32bit)



<専用アプリケーション画面イメージ>

SATA Command Monitor 専用アプリケーションは、使いやすいMDI機能(Multi Document Interface)を採用し、簡単操作と多彩な機能でFISの解析を支援します。

ログウインドウは“コマンド”、“全FIS”、“データ”別に分割(リスト)表示されますので、非常に見やすくバス動作を把握しやすい構成となっています。またコマンドやデータなどの検索機能、転送データ数や所要時間などを計算する測定機能などの便利な機能も搭載しております。

また、ビューアとしても使用できるため、装置を接続しなくても過去に保存したイベントログの閲覧が可能です。

本製品は各種カスタマイズが可能です。お気軽にご相談ください。

実際の使用方法などをご体験いただけるよう、下記を収録したCD-ROMを提供させていただきます。

- ①SATA Command Monitor 専用アプリケーション
- ②サンプル用ログファイル
- ③製品マニュアル

ご希望の方はお手数ですが弊社までご連絡ください。

製品名 : SATA Command Monitor

(型番 : SATA_COMD_MON)

定価 : オープン

付属品 : ACアダプタ、CD-ROM(専用アプリケーションなど)

※操作用PCは付属しておりません